

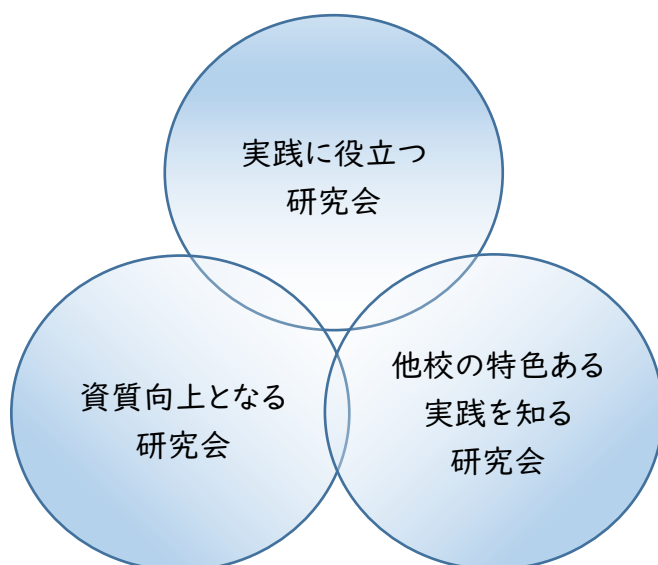
# 第46回福井県特別支援学校教育研究大会案内

○ 研究主題 ○

一人一人の自立を支え、生きる力をはぐくむ支援の在り方

福井県特別支援学校教育研究会

～3つの視点～



## 全体会 (オンライン開催)

令和7年8月6日(水)

9:00~12:00

福井県立清水特別支援学校

## 分科会 (集合型開催)

令和7年8月7日(木)

福井県立嶺南東特別支援学校

福井県立奥越特別支援学校

福井県立南越特別支援学校

令和7年11月28日(金)

福井大学教育学部附属特別支援学校

主催 福井県特別支援学校教育研究会

後援 福井県教育委員会

主管校 福井県立清水特別支援学校

## 今年度の研究大会について

令和7年 8月 6日(水):全体会は、オンライン(Zoom)で実施します。

講演会は期間限定でオンデマンド配信をします。

令和7年 8月 7日(木)、11月28日(金):分科会は、集合型で実施します。

### 全体会

【講演会】 オンデマンド配信期間 7月25日(金)～8月6日(水)

【オンライン(Zoom)】 令和7年 8月 6日(水)

9:00	9:30	10:00	11:50	12:00
受付	開会式 全体発表	授業研究会 (学部の実践の報告・協議)	閉会式 アンケート	

### 分科会

【集合型】

★令和7年8月7日(木)

A 分科会:嶺南東 9:00～11:45(9:00～受付、9:30～11:45 分科会)

B 分科会:奥越 13:00～16:00(13:00～受付、13:30～16:00 分科会)

C 分科会:南越 13:45～16:30(13:45～受付、14:15～16:30 分科会)

★令和7年 11月 28日(金)

D 分科会:附属 13:00～16:30(13:00～受付、13:30～16:30 分科会)

## 全体会について

**【講演会】** オンデマンド配信期間 7月25日(金)～8月6日(水)

講演題目： 『個別最適な学びを実現するためのアセスメント  
-量的アセスメントと質的アセスメントについて-』

講演概要： 目の前の子どもたちによりよい学習機会を提供しようと考えたとき、子ども達一人ひとりの実態を把握する必要がある。対象の方の実態を把握する行為をアセスメントと言い、結果が数値としても表される量的アセスメント、記述でまとめられる質的アセスメントに、大きくは分けられる。この2つは相反するものではなく相補的なものであり、この2つの視点から対象の方を理解しようとするこの意味を、主に量的アセスメントの視点から説明する。

講師：福井大学 学術研究院教育・人文社会系部門 准教授  
藤岡 徹 氏

略歴 筑波大学人間総合科学研究科 博士後期課程 修了  
民間クリニック 心理士、福井大学医学部精神医学領域 学術研究員、  
福井大学子どもこころの発達研究センター特命助教、を経て現職

講演題目： 『インクルーシブ教育時代の特別支援教育』

講演概要： 「特別支援教育は、共生社会の形成に向けて、インクルーシブ教育システム構築のために必要不可欠なものである」とされているが、インクルーシブ教育システム構築に向けた特別支援教育の推進とはどのようなことであるのか、インクルーシブ教育時代における特別支援学校の役割とは何か、インクルーシブ教育時代における特別支援教育の意義と方向性について改めて考える。

講師：福井大学大学院 連合教職開発研究科 准教授  
笹原 未来 氏

略歴 東北大学大学院教育学研究科 博士課程後期 修了  
福井大学大学院教育学研究科教職開発専攻 機関研究員  
特命助教、講師を経て、現職

※講演会視聴のみの参加も受け付けています。

## 【オンライン (Zoom)】 令和7年8月6日 (水)

### 日程

9:00	9:30	10:00	11:50	12:00
受付	開会式 全体発表	授業研究会 (学部の実践の報告・協議)	閉会式 アンケート	

### 開会式

挨拶 福井県特別支援学校教育研究会 会長  
祝辞 福井県教育委員会

### 全体発表

#### 主管校テーマ

#### 個別最適な学びを実現するための支援の在り方 ～交流及び共同学習を通して～

本校では、丁寧な実態把握を行いながら、学校生活・家庭生活・社会生活における児童生徒の姿を把握し、困難さやその要因となっているもの、有効な支援を考えています。そして、現在から卒業後につながる豊かな生活をイメージしながら、個別の教育支援計画・個別の指導計画を作成し、今の学習内容や支援方法などを検討しています。さらに、令和6年度からはインクルーシブな学校運営モデル事業の指定を受けたため、交流及び共同学習での姿を通して、個別最適な学びを実現するための支援の在り方を考えてきました。全体発表では、その取組について紹介します。

## 授業研究会

以下の2つのグループに分かれて、実践の報告・協議会に参加していただきます。  
各学部の実践発表(これまでの概要、事例の紹介)をした後、発表に対する意見・感想を共有します。  
また、各学校における交流及び共同学習を通した学びの在り方について情報交換や意見交換を行います。

### 実践発表

#### ①【小学部】居住地校交流(朝日小学校)

対象児童(小学部高学年)の居住地校交流の様子(家庭、図画工作、給食、休み時間など)を紹介する。

**協議の視点** 居住地校交流を通した子どもの学びや支援の在り方について

#### ②【中・高等部】学校間交流(清水中学校)・地域との交流(作業製品販売会)

中学部は、清水中学校美術部との共同作品制作を通した交流の様子を紹介する。

高等部は、丹生膳野菜での作業製品販売会を通した地域との交流の様子を紹介する。

**協議の視点** 学校間交流や地域との交流を通した子どもの学びや支援の在り方について

## 閉会式

挨拶 福井県特別支援学校教育研究会 副会長

## 分科会について

日時:令和7年8月7日(木)

嶺南東特別支援学校

9:00~11:45(9:00~受付、9:30~11:45 分科会)

奥越特別支援学校

13:00~16:00(13:00~受付、13:30~16:00 分科会)

南越特別支援学校

13:45~16:30(13:45~受付、14:15~16:30 分科会)

令和7年11月28日(金)

福井大学教育学部附属特別支援学校

13:00~16:30(13:00~受付、13:30~16:30 分科会)

### A 分科会 嶺南東特別支援学校

**テーマ** 「みんなと繋がる」訪問部の取組

**協議の着眼点** ○障がい重い児童生徒にとっての「主体的・対話的で深い学び」とは何か。

**内容紹介** 病院や自宅で訪問教育を受けている児童生徒だからこそ、いろいろな人と「繋がる」ことが必要だと考えました。様々な交流を通して繋がった輪は、少しずつ大きくなっており、たくさんの人が児童生徒の成長を温かく見守っています。病院内の小集団での授業から始まり、通学生との交流などに広がった、この5年間の取組を紹介します。

**助言者** 福井大学大学院 連合教職開発研究科 准教授 笹原 未来 氏

### B 分科会 奥越特別支援学校

**テーマ** 一人一人の多様な学びを大切にした授業実践  
～子どもの思いに寄り添った支援の工夫～

**協議の着眼点** ○子どもの主体性を引き出すために、どのような支援や仕掛けをしているか。

**内容紹介** 本校小学部では、子ども一人一人の「何だろう?」「ワクワク」「できた!」という思いを大切に、子どもが主体的に活動するための仕掛けや支援の在り方を考えながら実践に取り組んできた。前半はその実践を紹介する。後半は、各校より、子どもが中心となって活動を運営する実践について紹介してもらい、主体性を引き出すための支援や仕掛けについて話し合う。

**助言者** 高校教育課 特別支援教育室 主任 荒川 ひとみ 氏

## C 分科会 南越特別支援学校

**テーマ** 児童が周囲とかかわりながら「できた」「楽しい」を感じられる  
体育の授業づくり

**協議の着眼点** ○児童が「できた」「楽しい」を感じられるための授業づくりの取組について。  
○子どもの見取りや、評価方法等について。

**内容紹介** 小学部の「体育」において、児童が周囲とかかわりながら「できた」「楽しい」を感じるための内容設定や、指導の工夫、実践等を紹介する。  
グループ協議では、「できた」「楽しい」を感じられる授業づくり等について、個人や各校の取組について情報交換を行う。

**助言者** 福井大学大学院 連合教職開発研究科 准教授 笹原 未来 氏

## D 分科会 福井大学教育学部附属特別支援学校

**テーマ** 子ども一人一人のウェルビーイングを考える  
～日々の活動や学校生活を、子どもと共に創る～

**協議の着眼点** ○一人一人の子どもの見取りをどのように行っているか。  
○子どもが主体的に学びを深めるための授業づくり（目標設定・活動内容・教師の支援）において、どのように工夫しているか。分科会参加者とエピソードを共有し合いながら探っていく。

**内容紹介** 本校では、子どもたちが、主体性を持ち、生活の必然性に沿いながら日常の生活内容を題材にして学んでいく「生活教育」を実践している。子どもと共に活動を創るということは何かを考え、行ってきた実践を紹介する。その後は事例について協議および情報交換を行う。

**助言者** 植草学園大学 発達教育学部 准教授 高瀬 浩司 氏

## 大会参加申込について

- 大会参加につきましては、Google アカウントが必要になります。
- 全体会は Zoom を使用しますので、事前にインストールをして下さい。
- 全体会や分科会への参加申込は、メール本文に必要事項をご記入の上、お申し込みください。

※ メール送信の件名には、「大会参加申込(所属名)」とお願いします。

### ○申込記入の必要事項

- ①氏名(フリガナ)                      ②所属(学校名など)
- ③所属先電話番号                      ④職名
- ⑤メールアドレス(Google アカウントをご記入ください。

事務局からのメールは、このアドレスに送信します。)

### ⑥参加希望研究会

8月 6日(水) 全体会 (①小学部／②中学部・高等部)

8月 7日(木) 分科会 (A 嶺南東／B 奥越／C 南越)

11月28日(金) 分科会 (D 附属 ①小学部／②中学部／③高等部)

○参加対象 県内外の教職員

○参加費 無料

○申込先 主管校事務局メールアドレス: [tokukyo@shimizu-sh.ed.jp](mailto:tokukyo@shimizu-sh.ed.jp)

○主管校(福井県立清水特別支援学校)ホームページ URL

<https://www.shimizu-sh.ed.jp>



申込メ切 7月3日(木)

学校HP QRコード

## 全体会参加の方へ

- 申込が確認できましたら、事務局から受付メールを送信します。  
1週間経っても返信がない場合は、事務局に電話にてお問い合わせください。
- 県内特別支援学校の先生方には事前アンケートがありますので、ご協力よろしくお願いします。
- 全体会当日の資料、講演会の視聴方法等についての案内は、7月24日までにメールにて連絡します。

## 分科会参加の方へ

- 申込が確認できましたら、事務局から受付メールを送信します。  
1週間経っても返信がない場合は、事務局に電話にてお問い合わせください。
- 事前アンケートが各分科会担当校より送付がありましたら、ご協力よろしくお願いします。
- 分科会当日の資料についての案内は、7月30日までに各分科会担当校からメールにて連絡します。資料は各自で印刷し、当日お持ちください。

## 欠席連絡について

申込後、やむを得ず欠席されることになった場合は、下記のとおりにご連絡ください。

- 7月末までの欠席連絡:メール [tokukyo@shimizu-sh.ed.jp](mailto:tokukyo@shimizu-sh.ed.jp)  
※所属・氏名・参加予定研究会を明記してください。

- 8月以降の欠席連絡は:全体会は事務局へ、分科会に関してはお手数ですが、各分科会会場校までご連絡をお願いします。

事務局・全体会	福井県立清水特別支援学校	TEL 0776-98-3650
A 分科会	福井県立嶺南東特別支援学校	TEL 0770-45-1255
B 分科会	福井県立奥越特別支援学校	TEL 0779-88-0050
C 分科会	福井県立南越特別支援学校	TEL 0778-27-6600
D 分科会	福井大学教育学部附属特別支援学校	TEL 0776-22-6781